

挑戦 3

PMR 資格試験への挑戦

～PMR への遠い道のり～

東芝プラントシステム株式会社 電力プラント事業部
 火力プロジェクトマネジメント部
 プロジェクトマネジメントグループ 参事



みやさか よしあき
 宮坂 芳明

1. 受験の動機

自分は 2011 年に PMS を取得してから上位資格である PMR に興味を持ち、日本プロジェクトマネジメント協会主催の「PMS 資格者のレベルアップミーティング」に参加したり、PMR 資格者でもないのに PMR クラブ(現 P2M クラブ)にお邪魔したりしておりました。

しかしながら、試験の内容が PMS とは比べ物にならないほど高度で、一発で合格できなかった場合は、高額な受験料が飛んでいくと言う思いから PMR 資格試験を受けることに二の足を踏んでいました。

そうこうしているうちに、PMS を取得してから 3 年が経過し、PMS 受験で詰め込んだ知識が薄れていく気がして、2014 年にやっと重い腰を上げて受験を決意しました。

2. 受験の感想

後になって思えば、PMS で習得した知識は基礎として必要ですが、PMR 試験ではあまり重要ではなく、むしろ実践力の問われる試験内容だったと思います。

PMR 資格試験の勉強についてですが、「PMS 資格者のレベルアップミーティング」の資料を読み返したり、P2M ガイドブックに目を通したりで、特にこれといったことはせずに一次試験の論述試験と面接審査に臨み、あまり苦労なくパスしたと思います。

難なく一次試験に合格した思いから気が緩み、二次試験に向けて全く準備せず試験に望んでしまいました。

二次試験はとにかく時間との戦いで、論文、グループワーク、発表の繰り返しの分刻みの進行で、最後の試験官との面談のころには疲れ切っていたと思います。

この時の二次試験の結果ですが、自分でも予想していた通り不合格でした。

PMR 資格試験は、一次試験に合格した場合、合格した年から 4 年間は一次試験が免除されて二次試験からの受験となります。

2015 年は何としても二次試験に合格するつもりで、日本プロジェクトマネジメント協会主催の「P2M 実践力養成研修」を受講して万全の準備で二次試験に臨みましたが、残念ながら 2015 年は二次試験の受験者数が足りず、PMR の二次試験は開催されませんでした。

2016 年は通常通り二次試験が開催されることになり、自分としては足掛け 3 年の挑戦に終止符を打つべく、二次試験に挑み無事合格することができました。

2 回の受験を経た感想は、PMR 資格試験は他に類を見ないにユニークな試験で、プログラム・プロジェクトを超えて経営側の志向をも要求されると感じました。

論文やグループワークでも、常に経営者の「思い」から P2M の考え方や手法を取り入れ、プログラム・プロジェクトをゼロから立ち上げることでできる実践力が問われていたと思います。

3. PMR としての展望

さて、このように私の場合、PMR 資格を3年越しで取得できたわけですが、今後は業務の性質上、多国籍なチームで仕事をする事が多く、日本人に限らず多くの国の仲間に P2M の思想と考え方を広めていきたいと思っています。

【プロフィール】

合併前の東芝プラント建設株式会社に入社。火力発電所建設の電気システムエンジニアとして主に海外プロジェクトに従事。2008年より現所属にて海外火力発電所建設のプロジェクトコントロール及びマネジメントシステムの構築を担当。PMAJ 個人会員、PMR